

母校の誇り―卒業生の輝かしい功績



校友会会長 高井 勝弘

日頃より、校友会へのご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

本学のOBやOGが、さまざまな分野で素晴らしい成果を上げています。女子柔道部OGの三浦陽菜乃さん（スポーツ健康学部）は、世界クラシック&エキシツプサブジュニア&ジュニアパワリフティング選手権大会に日本代表として出場されました。また、ボクシング部OBの堤聖也選手がWBA世界バンタム級王座を獲得し、さらに宇津木秀選手はOPBF東洋太平洋とWBOアジアパシフィックのライト級王座を統一しました。これらの成果は、彼らの努力の賜物であり、私たちの誇りです。

卒業生の皆さまがそれぞれの舞台で輝かしい成果を収められたことは、在校生や後輩たちにとって大きな励みとなります。三浦さん、堤選手、宇津木選手のご活躍を心からお祝い申し上げます。

校友会では、一人でも多くの方が活躍できるように支援をしたいと考えておりますので、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

新学部が誕生します。

2026年4月、平成国際大学に「情報デザイン学部 情報デザイン学科」が誕生する予定です。（仮称・設置構想中）
数値・AI・データサイエンスを基礎から学び、デジタル技術を活用して地域や企業の課題を解決できるDX（デジタルトランスフォーメーション）人材を育成することを目的としています。

カリキュラムでは、データ分析やプログラミングだけでなく、実践的なプロジェクトやインターンシップを通じて、社会で求められるスキルを身につけます。また、IT産業、製造業、農業、自治体など、幅広い分野での活躍が期待されます。さらに、最先端のデジタル技術に触れながら、実社会での応用力を養うことができるのも大きな特徴です。

新たな学びの場として、地域や企業と連携しながら成長できる環境が整備されることで、キャンパスもさらに活気づくことでしょう。

グローバルな視点を持つDX人材の育成にも力を入れ、国際社会で活躍できる人材の輩出を目指します。デジタル社会の未来を切り拓くために、情報デザイン学部で新たな挑戦が始まります。



第19号

2025年3月発行

学校法人 佐藤栄学園
平成国際大学 校友会会報

文系・理系について



平成国際大学 学長 柏木 俊彦

本学は、昨年認可されました成長分野への転換等に係る助成金申請に基づき、新学部の設置認可申請の手續中です。申請する新学部は、「情報デザイン学部」でして、この申請が認可されれば、本学は新たに理系の学部をもつこととなります。

新学部設置の申請が認可されれば、本学は三つの学部によって鼎のように支えられることになり、安定性のある、しかも文系と理系の双方の学部を有する大学となります。

文系、理系という言い方をしましたが、学問を文系と理系に分けるのは日本特有の分け方であり、外国ではそういった分け方はしていません。日本が学問を文系と理系に区分した本来の動機は、黒板とノートがあれば済む文系と比較して、理系は実験設備等にお金がかかりますので、明治時代の日本においては、学生数を絞らざるを得ず、予算がかかる学問の学生数を制限することになったようでありました。学問の区分として文系・理系というのはあまり合理性のあるものではなく、文系的な知識と理系的な知識とをバランスよく修得できる文理融合型カリキュラムで育った学生は、地域社会あるいは社会全体にとって極めて有意義な人材となるものと信じて、新学部設置の夢を追いかける本学の春であります。

一つの世界を二つに分断する戦争

校友会顧問 副学長 浅野 和生



ICTの発達で、「ユビキタス社会」が実現した。スコットランドで車を運転して、セント・アンドルースやダンファームリン、スターリングなどの史跡を訪ねたとき、Google mapで検索してiPadに道案内をさせた。すると地図表示も案内もすべて

日本語で、埼玉県で運転するのと変わらない。他方、東京ロンドンの直行便は、羽田空港から太平洋を北上し、カムチャツカ半島の東海上からアラスカ、カナダ北部を通りグリーンランドを経て北大西洋、さらにアイスランドからスコットランド上空を飛んでロンドンに着いた。帰りはロンドンから東進してドイツ、ルーマニア、黒海南岸、カスピ海を横断してタジキスタンから中国、北京から南下して渤海湾、ソウル近くで朝鮮半島を横断し、釜山島から鳥取県、四日市で太平洋へ、伊豆半島から羽田に帰った。世界は、戦争でロシア、北朝鮮およびアフガニスタンとそれ以外に分かれている。科学技術が進める一つの世界を、戦争が二つに分断している。

校友会 会員紹介

いっしょに学んだことを国民のために



宮城県警察機動隊

渋谷 隆範

平成国際大学を卒業後、宮城県警察に奉職し12年になります。

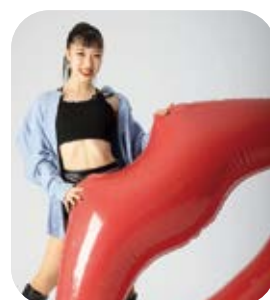
この間、剣道特別強化訓練生として機動隊に所属、悪に怯まない、強靱な精神身体を構築するために日々精進し、現場での執行力向上に努めています。

特別救助班としても災害現場において人命救出、救助活動を行っています。

学生時代は剣道部に所属し、監督の教えのもと、仲間と稽古に励み全日本学生大会に、団体、個人出場、その他多くの大会でたくさんの経験をすることができました。そんな学生生活の中で学んだことの一番は人との繋がりの大切さでした。先輩、後輩、そして同級生との4年間、時にはぶつかり合うことも苦しかったことも多々ありましたがこの学生時代の仲間との「縁」があったからこそ今の自分があるのだと思っています。

この繋がりに感謝し、これからも国民のため全力で警察官という職を全うしていきます。

学んだ力を胸に



LIPS DANCE SCHOOL 講師
花巻東高校 非常勤講師

荘司 陽香

私は大学ではダンス部に所属し、キャプテンを務めながら活動していました。新型コロナウイルスが流行したために思うような活動ができず辛い期間もありましたが、村田先生や幅田先生のご指導のもと、全国大会入賞を目指して仲間たちと日々練習に励んでいました。より良い作品を創るために仲間と奮闘したり自分のスキルを磨いたり、とても充実した時間を過ごしました。たくさんの方の知識やヒントを与えてくださった先生方や仲間には大変感謝しています。

日々様々な角度からダンスと向き合い追求することの難しさにも気づきながら、幼少期から夢だったダンスの仕事をした！と強く思うようになりました。大学時代に学んだ表現することの素晴らしさを自分から発信してみたいと思い、現在は岩手県にてダンススクール講師や高校非常勤講師として活動しています。私がダンスを通して身体で伝える楽しさや奥深さを教わったように、たくさんの方がダンスの力に触れるきっかけとなることを目指して、今後も学んだことを活かして精進していきたいと思います。

思いを言葉に出すこと



LOTUS WORKS 株式会社 取締役

猪ノ原 達弥

学部から修士まで6年在籍しました。入学が22年前という残酷さはさておき、振り返ると所属した陸上部やゼミ等、本当に沢山の「縁」に恵まれた学生生活でした。また、「やり投」に本気で取り組んだ充実の日々でした。

トレーニング機器の商社に13年勤めた後、現在は前所属の先輩と業務用トレーニング機器のトータルサポート（企画、販売、修理、搬入組立など）会社を起業し、全国を駆け回っています。また、縁あって今年4月から外部投擲コーチとして陸上部に携わり、後輩たちの「栄養」となるよう努めています。

現在の目標は、これまで培った知識や経験を活かし、「携わった人たちにとっての良き縁となり、きっかけとなること」です。仕事は会社と会社ではなく、最後は人と人なので、顔の見える、感情のある対応、「human to human」を大切にします。これは企業理念でもありますが、本業に限らずコーチ業や私生活においても大切な指針であると考えます。

一期一会を大切に、縁に恵まれた一そう言っていただけのように一層励みます。

平成国際大学校友会ホームページや

母校の「基本情報」、「各種証明書」の発行方法については、
下記QRコードを読み取ってご確認ください。



(校友会HP)



(基本情報)



(財務状況)



(各種証明申込・施設利用)

ボクシング部OB 2 名が快挙！

2018年法学部卒・堤聖也選手、 WBA世界王座獲得&初防衛！

令和6年10月13日、東京・有明アリーナで行われたWBA世界バンタム級タイトルマッチにて、本学ボクシング部OBの堤聖也選手（2018年3月法学部卒）が王者・井上拓真選手を3-0の判定で破り、新王者となった。試合序盤から積極的に攻め、8回には猛攻を仕掛け、10回には左フックでダウンを奪取。終盤まで手を緩めることなく攻め続け、判定勝利をつかんだ。試合後のインタビューでは、「この瞬間のために生きてきた」と涙ながらに語った。堤選手は令和5年12月の国内トーナメントで優勝。激闘の末、対戦相手が亡くなる悲劇も経験し、さまざまな思いを背負っての世界挑戦だった。勝利後、井上選手へ「人生の恩人」と感謝の言葉を述べた。

令和7年2月24日、同会場で行われたWBA世界バンタム級タイトルマッチでは、王者・堤聖也選手（角海老宝石）が挑戦者・比嘉大吾選手（志成）と対戦。12回の激闘の末、3者とも114-114のドローとなり、堤選手が王座防衛を果たした。

本学の誇る世界王者の誕生に、多くの祝福の聲が寄せられています。今後、世界の舞台での活躍にも大きな注目が集まっており、これからも研鑽を重ね、更なる高みを目指して邁進されることを期待している。



2017年法学部卒・宇津木秀選手が アジア2団体統一王者に！

令和6年11月21日、東京・後楽園ホールで行われた「WBOアジア・パシフィック」&「東洋太平洋」ライト級王座統一戦にて、本学法学部OBの宇津木秀選手（2017年3月法学部卒）が保田克也選手を6回2分47秒TKOで破り、統一王者となった。

試合は激戦となり、宇津木選手は4回に右フックで先制のダウンを奪うも、その後カウンターの受け4回終盤と5回に2度のダウンを喫した。しかし6回、右ストレートと連打で2度倒し返し、最後はレフェリーストップで勝利を収めた。試合後、「圧勝したかったが、保田選手はうまかった。まだまだ世界は遠い」と謙虚に語った。

宇津木選手はこれで日本王座も含めた地域3冠を達成。今後、世界王座への挑戦が期待される。統一王者となった本学OBとその快挙に多くの人が称賛を贈っている。



大学データ 令和7年2月28日現在

部活動 戦績

◎女子硬式野球部

★全日本大学女子硬式野球選手権大会
高知大会 優勝(2連覇)

★WBSC女子野球ワールドカップ

日本優勝(7連覇)

日本代表選出(学生1名、卒業生1名)

台湾代表選出1名

◎陸上競技部

★関東学生陸上競技対校選手権大会
(2部)

陸上競技部(円盤投げ 1位)

(ハンマー 3位)

(4×100R 3位)

総合得点7位(入賞12種目)

★関東学生新人陸上競技選手権大会

1500m 5位

◎剣道部

★埼玉学生剣道大会

男子個人優勝(春冬)

女子個人優勝(春冬)

男子団体優勝(冬)

◎柔道部(男子)

★関東学生柔道優勝大会2部(男子)

団体優勝

★埼玉県ジュニア柔道体重別選手権大会

66kg級 3位

81kg級 3位

90kg級 3位

★全日本学生柔道形競技大会

投の形 3位

★Junior Olympic National Championships(男子)

81kg級 2位

★湊谷杯全国学生柔道体重別選手権大会(男子)

81kg級 3位

◎柔道部(女子)

★関東学生柔道体重別選手権大会(女子)

78kg超級 3位

★全日本学生柔道形競技大会

柔の形 優秀賞

固の形 優秀賞

◎ウエイトリフティング部

★東日本学生ウエイトリフティング個人選手権(女子)

45kg級 2位

71kg級 3位

87kg級 2位

★全日本大学対抗(女子個人)

3位

★全日本女子選抜選手権大会(個人)

2位

★全日本大学対抗ウエイトリフティング選手権大会(2部)

ウエイトリフティング部(団体)優勝

◎ボクシング部

★関東大学3部トーナメント戦

ライト級 準優勝

◎男子バスケットボール部

★関東大学バスケットボール5部(男子)

リーグ戦 3位

4部リーグ入れ替え戦勝利

◎ダンス部

★「関東学生舞踊連盟発表会」に出品

卒業生満足度調査(2024)アンケート結果について

大学の卒業生を対象に、学生生活の満足度や大学への要望、校友会活動の充実に向けた提案を募集しました。回答は教育の改善や質保証の推進に役立てられます。





全国大会受賞作品

平成国際大学ダンス部は、2017年にスポーツ健康学部が創設されたのに伴って新設されました。ゼロからのスタートで、最初はダンス未経験の学生を集めて「HIUダンスプロジェクト」として大学祭にて発表を行いました。その後、2018年にダンス経験者の新入生3名を迎えて「ダンス部」として本格的に活動を開始しました。

活動1年目から全国規模の大会に果敢に挑戦し、大学祭での“踊るキャンパス”開催など精力的に踊る場を開拓してきました。ダンスの無限の可能性を信じて

「ダンスの力」を学内外に発信し続けています。

そして昨年度、全日本高校・大学ダンスフェスティバル（神戸）にて4つの大賞の1つである「神戸市長賞」に輝きました。この賞は「新境地を切り開く独創的な発想の探究に対して」最も優れていた大学に贈られる賞です。歴史ある常連校がひしめく中で、初受賞ベスト4という快挙でした。

また、2022年より自主公演を毎年開催しています。2020年頃から新型コロナウイルスが蔓延したことで、舞台の中止や大会の出場辞退が2年ほど続き、失望と悔し



大学祭の“踊るキャンパス”

さを取り返し味わった中、それでも何度打ちのめされようとも、またここから始めていこう、と悲願の第1回公演を実現させました。自主公演は、企画から運営まで自分達で創り上げる舞台で、その準備には途方もない時間とエネルギーを費やします。しかし、大変な分だけ地力・自力が付いていくのも確かです。



受賞発表直後

本学ダンス部は、ダンスを通して身体を磨き、感性を磨き、人間を磨き、創造的なエネルギーに溢れる部を目指しています。主に取り組んでいる創作ダンスは、ダンスの様々なジャンルの中でも型にはまらない自由な

ダンスです。自分や社会を見つめ、オリジナルの作品を創り上げます。踊ることは生きることと向き合うこと。ダンスの身体と創造の旅を通して、豊かな人間形成へと繋がっていくことを大切にしています。

本学ダンス部が新設からここまで歩んでくることができたのも、多くのご支援のお陰です。感謝とチャレンジ精神を忘れずに発展し続けていきたいと思いますので、今後とも応援のほど宜しくお願いします。

【告知】「埼玉大学ダンス部×平成国際大学ダンス部 合同公演2025」

3月21日(金)18時開場、18時半開演
@さいたま市文化センター 小ホール



自主公演の舞台

身体を磨き、感性を磨き、人間を磨く

ダンス部

キャンパス今昔物語

●サッカー場

旧



新



公式戦にも使用できる人工芝のサッカー場（2024年リニューアル）。夜間照明もあり、日が落ちてからの練習もできます。

